

パターン		管理者(親店舗)	アプリ上の店舗表示			QRコードPOP		
パターン1	1店舗でQRコードが複数枚必要 →コンビニのレジがX台あるため、複数枚必要だが、管理を分ける必要はない。	まちなわ 商店	まちなわ 商店			まちなわ 商店	まちなわ 商店	まちなわ 商店
パターン2	1店舗で異なるQRコードが複数枚必要 → タクシーの車両ごと／スーパーのレジ単位で管理が必要。 アプリに「〇〇タクシー●号車」「▲スーパーレジNo.△」という表記は必要ない場合。	まちなわ タクシー	まちなわ タクシー			まちなわ タクシー1号車	まちなわ タクシー2号車	まちなわ タクシー3号車
パターン3	管理者(=親店舗)も子店舗もQRが必要 ⇒メリット :ログインIDがパターン4より1つ少ない。 デメリット:親に紐づいた子店舗(右記A店)のようにすべてを見ることができる店舗が発生するので、店舗での取消など誤作業注意。 子店舗同士の売上を把握させたくない場合には不向き。	まちなわ カフェA店	まちなわ カフェA店	まちなわ カフェB店	まちなわ カフェC店	まちなわ カフェA店	まちなわ カフェB店	まちなわ カフェC店
パターン4	管理者(=親店舗)はQR不要、子店舗を一括管理 ⇒メリット :親店舗IDで全店舗売上を確認可能。 子店舗同士での画面確認を阻止。 デメリット:ログインIDがパターン3より1つ多い。	まちなわ モール	まちなわ 書店	まちなわ 生花店	まちなわ コンビニ	まちなわ 書店	まちなわ 生花店	まちなわ コンビニ